

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 1 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 東京都豊島区南池袋2-25-5藤久ビル東5号棟

氏 名 一建設株式会社 代表取締役 堀口 忠美

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5928-1700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一建設株式会社 奈良営業所
事業場の所在地	奈良県奈良市菅原東2-21-1 ひかりビル1F C
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	837074万円
③ 従業員数	18名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場 ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理 ⇒ 再資源化・埋立 (全量業務委託)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社生産管理部業務課



近畿工事統轄部長 ⇒ ブロック長 ⇒ 工事長 ⇒ 各現場担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（20: 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)  納品部材の発注量の管理 床養生材のリサイクル対応		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  現状同様、納品部材の発注量管理を行い廃棄物量の削減を目指す。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 委託業者と協議の上、廃棄物の分別を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 委託業者と協議の上、効率よくリサイクルできるように努力する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 202: 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
予定なし			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 202: 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 202: 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 202: 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)  委託業者の管理及び産業廃棄物の分別の意識の徹底。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状維持し、委託内容の整合性の確認及び産業廃棄物の分別の意識の拡充。			
※事務処理欄			

